

Title	日本語表記システムの歴史的研究
Sub Title	Historical study of Japanese writing systems
Author	屋名池, 誠(Yanaike, Makoto)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2021
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2020.)
JaLC DOI	
Abstract	<p>中世・近世・近代の資料に見られる漢字仮名交じり表記には、現代には見られない特異な性格を持つものが、さまざまに存在している。しかし、従来、それらのちがいは問題にされず、ひとくりに「漢字仮名交じり」と扱われるにとどまっていたが、本研究では、表記システムを、さまざまな表記機構の複合体ととらえることで、それら諸機構を分析・抽出して精密な記述をおこない、機構ごとにその類型を明らかにした。なかでも、もともと漢文の構文法に由来する、日本語の音列の進行方向とは逆の方向へ文字を並べる「逆順表記」機構の類型や、表記される言語要素を、文字の大小で書き分ける「宣命書き」機構の類型に注目することで、漢字仮名交じり表記の成立する平安時代から鎌倉時代にかけての漢字仮名交じり表記システムのタイプを類別し、それぞれのタイプごとの発展の経路を明らかにした。</p> <p>By paying attention to the type of "reverse order notation" mechanism in which characters are arranged in the direction opposite to the direction of the Japanese language, and the type of "Semmyo-gaki" mechanism in which the written language elements are written according to the size of the characters. the types of kanji-kana mixed notation systems from the Heian period to the Kamakura period, in which kanji-kana mixed notation is established, were categorized, and the development route for each type was clarified.</p>
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2020000008-20200089

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

研究代表者	所属	文学部	職名	教授	補助額	200 (B) 千円
	氏名	屋名池 誠	氏名 (英語)	Makoto Yanaike		
研究課題 (日本語)						
日本語表記システムの歴史的研究						
研究課題 (英訳)						
Historical Study of Japanese Writing Systems						
1. 研究成果実績の概要						
<p>中世・近世・近代の資料に見られる漢字仮名交じり表記には、現代には見られない特異な性格を持つものが、さまざまに存在している。しかし、従来、それらのちがいは問題にされず、ひとくりに「漢字仮名交じり」と扱われるにとどまっていたが、本研究では、表記システムを、さまざまな表記機構の複合体ととらえることで、それら諸機構を分析・抽出して精密な記述をおこない、機構ごとにその類型を明らかにした。なかでも、もともと漢文の構文法に由来する、日本語の音列の進行方向とは逆の方向へ文字を並べる「逆順表記」機構の類型や、表記される言語要素を、文字の大小で書き分ける「宣命書き」機構の類型に注目することで、漢字仮名交じり表記の成立する平安時代から鎌倉時代にかけての漢字仮名交じり表記システムのタイプを類別し、それぞれのタイプごとの発展の経路を明らかにした。</p>						
2. 研究成果実績の概要 (英訳)						
<p>By paying attention to the type of "reverse order notation" mechanism in which characters are arranged in the direction opposite to the direction of the Japanese language, and the type of "Semmyo-gaki" mechanism in which the written language elements are written according to the size of the characters, the types of kanji-kana mixed notation systems from the Heian period to the Kamakura period, in which kanji-kana mixed notation is established, were categorized, and the development route for each type was clarified.</p>						
3. 本研究課題に関する発表						
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)			